

何も咲かない寒い日は、

下へ下へと根を伸ばせ

何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。

ご縁ある皆様方には、いつも支えていただき、心より感謝申し上げます。

また今度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、今まで当たり前に過ごしておられた日常の変化に、経済的にも、心身的にも不安な日々をお過ごしのことと心配しております。衷心よりお見舞い申し上げます。

未だに目途が立たない新型コロナウイルスの終息。

長期的な戦いになる事も視野に入れなければならぬ状況です。

富山県内をはじめ、国内外でも自粛要請等が相次ぎ、寺院活動においても、感染症の拡大を危惧しての対策を講じざるを得ない状況です。

私の立場から言えば、一人の人間として、日本人として、僧侶として、宗教者として、今は一体何を為すべきなのか？！

ウイズコロナ（自粛生活の今現在）

そして、

アフターコロナ（終息後に訪れる未来）
ずっと考えています。

人間関係や組織のコミュニケーションを繋ぐのに、Facebook（フェイスブック）などのSNSもそうですが、様々な便利アプリなどが一役買ってくれています。

贅沢は言ってもらえませんが、ただそれは温度を感じにくいのが本音だし、不安は拭い去ることは出来ません。。。

奇しくもコロナの猛威が、これまでの「当たり前」だと思っていた一つ一つに問い直すべき機会を与えているかのようにも思えてきます。

「異体同心（いたいどうしん）なれば万事を成ず」という金言があります。

一人一人は違うけれど、心一つにして万事に当たれば、何事も成すことが出来るということなのです。

一人一人の意識が大事です。自分さえ良ければそれで良いものではありません。

妙法蓮華経（法華経）の示す真髓は、他がために尽くす事がその人の心に大きな変化を与え、やがては世を変える力になるという菩薩の精神です。

菩薩の精神とは、互いに支え合う心があります。

今まさに一人一人の一挙手一投足に菩薩の精神が求められています。

今年の夏、「おもてなし」の心を世界中に披露することは叶いませんでしたが、太陽が東より昇り、西の彼方に沈みゆくように、日出ずるこの国で成熟した仏教精神。

「たすけあい・ゆずりあい・おたがいさま」の心が、きつと混乱する世界中を照らし出してくれると信じています。

乗り越えられない苦難はないはずですが、皆で支え合う菩薩の心を帯し、苦境を乗り越えましょう。

苦境の先には、今まで味わった事のないほど暖かで安穏な日常が待っているはずですよ。

そして、こういう時だからこそ、一人一人の祈りが尊いものとなります。

そこで異体同心の祈りを捧げたく、左頁に【祈願回向文】の資料を添付させていただきました。各家のお仏壇の前でお唱えし、それぞれに祈りを捧げて頂きたいという願いが込められています。

皆様のお力添えを頂きながら、一日も早い事態収束を願い、安穏な日常が訪れることを皆様と心一つに祈念させて頂きましよう。

皆様にはご賛同いただきまして、ご自宅のお仏壇の前に座し、ご一緒に供養祈願の誠を念じましよう。

今しかできないこと
今だからできること

台掌 副住職 谷川寛敬

来月のご案内



真ごころちゃん

◎ 祠堂大法要

● 六月十四日（日）

● 午前十時半

※新型コロナウイルスの感染拡大が、心配されますので、

御講（お給仕）は中止となります。

尚、お参りは、午前中のみとなります。